

# 宜蘭クレオールにおけるsound substitutionについて

真田 信治\*

On the sound substitution of Yilan Creole

Shinji SANADA

## 要 旨

アジア太平洋の各地においては、戦前・戦中に持ち込まれた日本語が、長きにわたって現地諸語との接触を保ちながら使われ続けてきた。その接触によって最も大きな変化を遂げたのは、台湾東部の宜蘭県に住む原住民族の一部の人々が母語として用いている、日本語を語彙供給言語とするクレオール語（宜蘭クレオール）である。本稿では、このクレオール語に供給された日本語語彙におけるsound substitution（音的置換）について考察する。まず、現地語の音韻構造として、語中に母音が連続しないという点があげられる。また、現地語の音韻体系には、特殊音素の/R/（長音）と/Q/（促音）が存在しない。したがって、このような音を持つ日本語由来の語彙は現地語の音的フィルターによって、さまざまに置き換えられているのである。

【キーワード】 宜蘭クレオール、アタヤル語、音韻対応

## I. はじめに

アジア・太平洋の各地においては、戦前・戦中に持ち込まれた日本語が、長きにわたって現地諸語との接触を保ちながら使われ続けてきた。その接触によって最も大きな変化を遂げたのは、台湾東部の宜蘭県に住む原住民族の一部の人々が母語として用いている、日本語を語彙供給言語とするクレオール語である。

筆者と台湾国立東華大学の簡月真は、2007年に、この日本語系クレオール語の存在を初めて学界に報告（真田・簡2007）、その後、この新言語を「宜蘭クレオール」と名付けて、調査研究を進め、いくつかの論文を公表してきた（Chien and Sanada 2010, 真田・簡2012など）。

本稿では、この宜蘭クレオールに供給された日本語語彙が現地語の音的フィルターによって、どのように置き換えられているか、といったsound substitution（音的置換／音の代用）をめぐって考察する。

## II. 調査概要と資料

宜蘭クレオールは、宜蘭県の南澳郷東岳村・金洋村（の博愛路）・澳花村と大同郷寒溪村で主に使

---

平成26年9月25日受理 \*文学部国文学科教授

われている。ただし、各村間にはバリエーションが存在し、また同じ村の内部でも世代差が見られる。

本稿で扱うデータは、宜蘭県東岳村生え抜き(1974年生まれ)の女性Y氏によるものである。Y氏は日本語がまったく話せない。宜蘭クレオールを第1言語として育ち、現在は宜蘭クレオールと中国語とのバイリンガル生活を送っている。

データ収集は、項目ごとに中国語文の翻訳という形で、共同研究者の簡月真とともに、2008年6月から2010年2月まで断続的に行った。調査項目の設定、調査表の作成に当たっては、主に次の文献を参考にした。

平山輝男 1979『全国方言基礎語彙の研究序説』明治書院

峰岸真琴 2000『言語調査票2000年版』文部科学省特定領域研究(A)「環太平洋の危機に瀕した言語にかんする緊急調査」総括班成果物

調査において、Y氏が、そのようなレファレント(概念)はかつて存在しなかったとし、中国語の発音のみで答えたものが多くあった。そのような項目を除いた約1,400項目に対する語形・語句を「宜蘭クレオール」の基礎語彙資料と認定して、『台湾「宜蘭クレオール」の基礎語彙集』を作成した(簡月真・真田信治編 2010.3, 奈良大学文学部真田研究室)。

本稿は、この語彙集に収録したデータ(「資料」)を対象として分析するものである。

### Ⅲ. 宜蘭クレオールの音韻体系

宜蘭クレオールの音韻体系及び韻律は、その周辺に分布する伝統的アタヤル語と基本的に同様である。したがって、その音韻表記に当たっては、アタヤル語の書写で用いられる記号(ローマ字)を採用することにした。

それぞれの文字に対応する国際音声字母は、以下の通りである。なお、文字については、台湾行政院原住民族委員会及び教育部が2005年12月15日公布した「原住民族語言書寫系統(原住民族語言表記法)」の「泰雅語書寫系統」にほぼ従っている。

子音 (17個)

※上の行は書写文字、下の行はIPA(国際音声字母)を表す

p	t	k	ʻ	c	b	s	z	x	g	h	m	n	ng	d	r	l
[p]	[t]	[k]	[ʔ]	[ts]	[β]	[s]	[z]	[x]	[ɣ]	[h]	[m]	[n]	[ŋ]	[d]	[r]	[l]

半母音 (2個)

w	y
[w]	[j]

母音 (5個)

i	e	a	o	u
[i]	[e]	[a]	[o]	[u]

### 1. 子音音素とその音声

子音には /p, t, k, ' , c, b, s, z, x, g, h, m, n, ng, d, r, l/ の17個が観察される。このうち /' , c, b, g, ng/ に対応する音声は、それぞれ [ʔ, ts, β, γ, ŋ] である。

ここには、周辺のアタヤル語C'uli'方言と同様、 /q/ (口蓋垂破裂音の [q]) が認められない。また、日本語に存在する特殊な音素 /R/ (長音) や /Q/ (促音) も認められない。

一方、 /d/ はアタヤル語系の言語には存在しない音素である。なお、 /d/ (歯茎破裂音の [d]) の所属語彙は、handay<飯台→テーブル>、dare <だれ>、denwa<電話>、daykong<大根>など、すべて日本語由来のものである(資料参照)。したがって、この音素は日本語の影響で生じたものと考えられる。

ただし、一部の青年層においては、

handay > hanray

dare > rare, lale

denwa > lenwa

のように、所属語彙を /r/ 乃至 /l/ に分属させ、 /d/ を消去させようとする動きが観察される。このような動きに関しては傍層としての台湾語、及び中国語からの干渉があるのではないかと考えている。

なお、宜蘭地域のアタヤル語C'uli'方言には /z/ が欠如していることに関わって、宜蘭クレオールの /z/ に属する語のすべてが日本語由来のものである(資料参照)という点も指摘しておきたい。

### 2. 半母音音素とその音声

半母音は /w, y/ の2個である。いずれも子音と母音の間にも現れる。yの音声は [j] であるが、その音素表記に当たっては、アタヤル語の書写に用いられる記号yを用いた。

### 3. 母音音素とその音声

母音は日本語と同様、 /i, e, a, o, u/ の5個である。ちなみに、これはアタヤル語の母音体系とも同様である。なお、 /u/ の音声は唇の丸めを伴う [u] で、日本標準語とはやや異なる。

## IV. 音韻対応

以下、日本語由来の語の変容(音の代用)の諸相について、個別に記す。

### 1. 音的置換

まず、日本語由来の語が宜蘭クレオールの構成要素となった折の音的置換(sound substitution)について述べる。

宜蘭クレオールの音韻構造として、語中に母音が連続しないという点があげられる。また、宜蘭クレオールの音韻体系には、特殊音素 /R/ (長音) と /Q/ (促音) が存在しない。したがって、このような音を持つ日本語由来の語彙はそのようなフィルターによって変形させられるわけである。その置き換えの措置方法は、次のようである。

①半母音による代用、または挿入によって対処する。

語例: yasay	<野菜>
oysi	<おいしい>
araw	<洗う>
koye	<声>
kawo	<顔>
awu	<会う>

②特殊音素/R/を脱落させる(長音を短呼化する)。

語例: cisay	<小さい>
oki	<大きい>
byoki	<病気>
esesyo	<衛生所>
yugi	<遊戯→踊り>

③特殊音素/Q/(促音)を脱落させる。

語例: kekong	<結婚>
ipay	<いっぱい>
basay	<伐採>
bateli	<バッテリー>

ただし、促音に関しては、音素/ʔ/(声門閉鎖音の[ʔ])を促音の代用として用いる場合がある。

語例: sye'ken	<石鹸>
-------------	------

## 2. 対応傾向

ここでは、体系上の音韻対応ではないが、音声の対応上における傾向性について述べる。

まず、上でも触れたが、**[d>r]**には、次のようなものがある。

語例: oren	<おでん>
oranggo	<おだんご→水団>
cyarangsū	<茶筴筒>
sayra	<サイダー>
mara	<まだ>
kyoray	<兄弟→家族/親戚>

一方、**[r>l]**も見られる。ただし、語末音節の場合に多い。

語例: toli	<鳥>
kyuli	<きゅうり>
hali	<針>
kiley	<きれい>
sakula	<桜>
salu	<猿>

**[c>cy]**

アタヤル語の/c/の音声は [ts~tʃ] に揺れる由である (注) が、宜蘭クレオールで、日本語の/c/に /cy/が対応する語例が存在する。

語例：	panceyu	<パンツ>
	tecyu	<鉄>
	kucyu	<靴>
	cyuba	<唾>

この点は/s/の音声に関しても同様で、日本語の/s//z/に、/sy//zy/が対応する語例が存在する。

語例：	syara	<皿>
	syuripa	<スリッパ>
	syози	<掃除>
	misye	<店>
	mizyu	<水>
	kanzyo	<肝臓>

しかし、これら口蓋化音をそれぞれ異音とする立場をとるならば、音素/cy/や/sy//zy/を別立てする必要はないのかもしれない。

その他、同様の音声の対応上における傾向性としては、以下のものがある。

**[n>ng]**

語例：	mikang	<みかん>
	bing	<瓶>
	takusang	<たくさん>
	tangsu	<箆笥>
	omangko	<性交>
	mongpey	<もんぺ→女性用ズボン>

**3. 訛語 (単語の形態)**

傾向性とまでは言えないが、ある語の音韻への所属が異なっている、つまり単語の形態の問題として処理できるものをここに掲げる。いわゆる訛語のレベルのものである。

**[hi>gi]**

語例：	gito	<人>
	giru	<昼>
	agiru	<家鴨>

これは、おそらく日本語の/hi/の子音の音声は [ç] であることに関わって、同じ口蓋摩擦音である /g/ ([ç]) に対応させたものであろう。

**[ryo>zyo]**

語例：	cizyo	<治療>
-----	-------	------

zayzyo <材料>

これについては、日本語の /r/ の音声は弾音の [r] であることに関わる対応なのではないかと考える。

#### 4. その他

##### 【無声化音に対応】

日本語のいわゆる無声化音に応じて、母音が脱落する場合がある。次のようなものである。

asta <明日>  
rosok <蠟燭>  
garas <ガラス>  
hos <干す>  
skosi <少し>

最後の語例は、さらに kosi へと変形している。いずれにしても、これらの様相は、宜蘭クレオールの語彙が口頭語からの借用であることの証左となろう。

##### 【撥音の脱落】

少ないながら、撥音に対応する音の脱落例がある。

uci <うんち→大便>  
cici <ちんちん→男児の性器>  
nising <妊娠>

いずれも身体関係のものであることに注意したい。

ただし、以上の語例の中には話者のイデオレクト的なものが混入している可能性もあろう。今後の検証課題である。

資料

日本語由来の語彙リスト (抄録)

\* 排列は「原住民族言語表記法」での順序に基づく。

\*\* < >内での/は意味の併用、→は語源からの意味変化を表す。

/p/		toli	<鳥>
penci	<ペンチ>		
pangku	<パンク>	/k/	
pangcyu	<パンツ>	kipu	<切符/チケット>
		kita	<ギター>
/t/		kikay	<器械>
tepo	<鉄砲>	kiku	<聞く>
tecyu	<鉄>	kisya	<汽車/電車>
tesage	<手提げ籠>	kisyu	<キス>
tegami	<手紙>	kimoci	<気持ち>
tenki	<天気/気候>	kino	<昨日>
tenkoku	<天国>	king	<金>
tateru	<立てる>	kiru	<切る>
takay	<高い>	kilen	<記念>
tako	<蛸>	kiley	<きれい>
takusang	<たくさん>	kekong	<結婚>
taberu	<食べる>	kekongsiki	<結婚式>
tamago	<卵>	kesacu	<警察>
tane	<種>	kesacusyo	<警察署→交番>
tangki	<短気/すぐ怒ること>	kesang	<計算/数えること>
tangku	<タンク>	kega	<怪我/傷>
tangsu	<箏箏>	kenka	<喧嘩>
toki	<時>	kelen	<痙攣>
tokey	<時計>	kapa	<カップ/ビニール袋>
tokubecu	<特別/特に>	kata	<肩>
tobiyo	<飛び魚>	kaki	<柿>
tobu	<跳ぶ>	kako	<恰好/体裁/形>
tome	<止め→ヘアピン>	kaku	<書く>
tomato	<トマト>	kaci	<勝ち>
tomaru	<止まる>	kacu	<勝つ>
tomodaci	<友達>	kabang	<かばん>
toraku	<トラック>	kasi	<菓子>
toru	<取る>	kasa	<傘>

kasu	<貸す>	konna	<こんな>
kaze	<風>	kore	<これ>
kagi	<鍵>	korosu	<殺す>
kagami	<鏡>	koli	<氷>
kami	<紙>	kowasu	<壊す/破る>
kamisama	<神様>	koye	<声>
kamu	<咬む/噛む>	kyo	<今日>
kanpang	<看板>	kyokay	<教会>
kantang	<簡単>	kyonen	<去年>
kansya	<感謝>	kyoray	<兄弟→家族/親戚>
kansyo	<干渉>	kusi	<櫛>
kanzyo	<肝臓>	kusa	<草>
kanzyobyoo	<肝臓病>	kuci	<口>
kanzume	<缶詰>	kucikenka	<口喧嘩>
kang	<缶>	kucyu	<靴>
kangkang	<缶缶>	kucyusita	<靴下>
kangsyoki	<乾燥機>	kusuri	<薬>
kanggay	<考え>	kugi	<釘>
kanggohu	<看護婦>	kuraci	<クラッチ>
karada	<身体>	kuru	<来る>
karaoke	<カラオケ>	kurusi	<苦しい>
kaw	<買う>	kuwai	<怖い/恐ろしい>
kawa	<川>	kyuli	<きゅうり>
kaway	<可愛い>		
kawaysyo	<可哀相>	/c/	
kawo	<顔>	cikara	<力>
kaysi	<開始→始めること>	cikay	<近い>
kaygi	<会議/会合>	cici	<ちんちん→男児の性器>
kayesu	<返す>	cisay	<小さい/細い/細かい>
kop	<コップ>	cizyo	<治療/直すこと>
koto	<こと>	cigow	<違う/いいえ/～ではない>
koka	<国家>	cinpo	<男性器>
kokang	<交換>	cyarangsu	<茶箆筒>
kokoro	<心>	cukaw	<使う>
koci	<こっち>	cuku	<着く>
kosi	<少し→少ない>	cukuru	<作る/建てる>
kozyo	<工場>	cyuba	<唾>

cyusen	<抽籤>	sinkecu	<神経痛>
cyusya	<注射>	sinkey	<神経>
		sinbun	<新聞>
/b/		sinzyo	<心臓>
binbo	<貧乏>	sinzyobyoy	<心臓病>
bing	<瓶>	sinu	<死ぬ>
biru	<ビール>	sirwey	<白い>
beto	<ベッド>	siryoy	<飼料>
betu	<別>	seto	<セット>
bento	<弁当>	sekay	<世界>
benkyoy	<勉強>	sebiroy	<背広>
benzyoy	<便所→トイレ>	semento	<セメント>
bateli	<バッテリー>	sensey	<先生>
baku	<バック>	seytoy	<生徒>
basay	<伐採>	seynen	<青年>
basu	<バス>	syey'ken	<石罅>
basyoy	<芭蕉→バナナ>	sato	<砂糖>
bang	<晩/夜>	saki	<さっき>
bayking	<黴菌>	sake	<酒>
baysyoy	<賠償>	sakana	<魚>
botang	<ボタン>	sakula	<桜>
bokusi	<牧師>	sabisi	<寂しい>
bosi	<帽子>	sasimi	<刺身>
bohuw	<暴風雨→台風>	sagasu	<探す>
bolu	<ボール/球>	samuy	<寒い/冷たい>
byoki	<病気>	salu	<猿>
byowing	<病院>	sayho	<裁縫>
burabura	<ぶらぶらすること>	sayra	<サイダー>
		sayonara	<さようなら>
/s/		syaking	<借金>
skosi	<少し>	syakay	<社会>
sipay	<失敗>	syasin	<写真>
sita	<下/下方>	syasinki	<写真機→カメラ>
sitake	<椎茸>	syazi	<さじ→スプーン>
siken	<試験>	syara	<皿>
sigoto	<仕事>	sonomama	<そのまま>
sinpai	<心配>	song	<損>

songcyo	<村長>	gohang	<ご飯>
sore	<それ>	gomi	<ごみ>
sorekara	<それから>	gomen	<ごめんなさい>
soyu	<醤油>	gomu	<ゴム>
syoto	<ショートすること>		
syobay	<商売>	/h/	
syози	<掃除>	hikoki	<飛行機>
syonben	<小便>	hiryo	<肥料>
suki	<好き>	hetay	<兵隊>
suzusi	<涼しい>	hebi	<蛇>
sunā	<砂>	ha	<歯>
syu	<週>	hato	<鳩>
syuripa	<スリッパ>	hakama	<袴→スカート>
		hakari	<秤>
/z/		hako	<箱>
zikang	<時間>	haku	<穿く/履く/着る/付ける>
zibun	<自分>	haci	<蜂>
zising	<地震>	hasi	<箸>
zetay	<絶対>	hasami	<鋏>
zaysan	<財産>	hadaka	<裸>
zayzyo	<材料/原料>	hantay	<反対/逆>
zyama	<邪魔>	hanbun	<半分>
zyoto	<上等/すぐれて良いこと>	handay	<飯台→テーブル/机>
zyoking	<雑巾>	hana	<花>
zyunbang	<順番>	hanasi	<話/ことば>
		hanasu	<話す>
/g/		hang	<判>
gito	<人>	hangkaci	<ハンカチ>
giru	<昼>	harigane	<針金>
geta	<下駄>	hara	<腹>
gekey	<月経>	hali	<針>
genking	<現金>	haybyo	<肺病>
geri	<下痢>	hayru	<入る>
gako	<学校>	hayya	<ハイヤー→タクシー>
gakusey	<学生>	hayay	<早い/速い>
gasu	<ガス>	hoki	<箒>
garas	<ガラス→ガラス戸/窓>	hocyo	<包丁>

hos	<干す>	mohu	<毛布>
hon	<本>	momo	<桃>
honto	<本当>	mono	<物>
hora	<ほら吹き>	mongpey	<もんぺ→女性用ズボン>
hutong	<布団>	musi	<虫>
hune	<船>	muzukasi	<難しい>
		mune	<胸>
/m/		/n/	
mikang	<蜜柑>	nta	<あなた>
mici	<道>	nnay	<無い>
mising	<ミシン>	nikibi	<にきび>
misye	<店>	niku	<肉>
miso	<味噌>	nikuy	<憎い>
misosiru	<味噌汁>	nicyobi	<日曜日>
mizyu	<水>	nising	<妊娠>
minna	<みんな/すっかり>	nihong	<日本>
miruku	<ミルク>	ninggen	<人間/人/人類>
mesi	<飯>	niyey	<臭い>
megane	<メガネ>	nekutay	<ネクタイ>
mata	<また>	necu	<熱>
makeru	<負ける>	negi	<葱>
makura	<枕>	neru	<寝る>
maciru	<混じる>	naka	<中/間/奥>
macu	<待つ>	naku	<泣く>
masugu	<まっすぐ>	nasi	<梨>
mago	<孫/子孫>	nasubi	<茄子>
mame	<真似>	namay	<名前>
mara	<まだ>	nani	<何>
mawaru	<廻る/囲む>	nagay	<長い>
maynici	<毎日/いつも>	naru	<なる>
maynen	<毎年>	nokori	<残り>
maye	<前>	nokoru	<残る>
mo	<もう/すでに>	nomu	<飲む>
moto	<もっと>	noru	<乗る>
moci	<餅>	noli	<糊>
mocigome	<餅米>		
mocu	<持つ>		

/d/		yakang	<薬缶>
dento	<電灯/懐中電灯>	yaku	<焼く>
denki	<電気>	yasay	<野菜>
denwa	<電話>	yasumi	<休み/休暇>
deru	<出る/生まれる>	yasuy	<安い>
dake	<だけ>	yagi	<山羊>
dangdang	<段々/階段>	yameru	<止める>
dare	<誰>	yama	<山>
daykong	<大根>	yamakasi	<やかましい>
daygaku	<大学>	yamamici	<山道>
doko	<どこ>	yaway	<柔い>
donna	<どんな>	yokey	<余計>
dore	<どれ>	yozi	<用事>
		yoway	<弱い>
/r/		yukuri	<ゆっくり>
rikong	<離婚>	yugi	<遊戯→踊り>
regi	<礼儀>	yume	<夢>
rehay	<礼拝>		
remon	<レモン>	/i/	
razyo	<ラジオ>	ipay	<いっぱい>
raynen	<来年>	itay	<痛い>
rosok	<蠟燭>	ito	<糸>
rongburi	<井>	ikiru	<生きる>
ryukang	<旅館>	ika	<烏賊>
ryuzan	<流産>	iku	<行く>
		iciba	<市場>
/w/		icibang	<一番/最も>
wataci	<私たち>	icu	<いつ>
wakeru	<分ける>	ibari	<威張り/自慢>
wakaru	<分かる>	isi	<石>
wakay	<若い>	isogasi	<忙しい>
wasi	<わし→私>	isyo	<一緒>
wasabi	<わさび>	imi	<意味>
waruy	<悪い>	ima	<今>
		inori	<祈り>
/y/		iro	<色>
ysisya	<医者>	iru	<要る/ほしい>

/e/		arigato	<ありがとう>
eki	<駅>	are	<あれ>
ebi	<海老>	araw	<洗う>
esesyo	<衛生所>	aru	<ある>
ega	<映画>	aruku	<歩く>
en_gen	<隠元豆>	awu	<合う>
eray	<偉い>	ay	<愛>
		aysuru	<愛する>
/a/		/o/	
atama	<頭>	opay	<おっばい>
atarasi	<新しい>	otoko	<男/夫>
ataru	<当たる>	oki	<大きい>
ato	<後/次>	okiru	<起きる/目覚める>
akeru	<開ける>	okasi	<お菓子/おやつ>
akacyang	<赤ちゃん>	okay	<お粥>
akay	<赤い>	oku	<置く>
ako	<あこ→あそこ/そこ>	okuru	<叱る>
aci	<あっち>	ociru	<落ちる>
acikoci	<あちこち>	ocya	<お茶>
abunay	<危ない/険しい>	ocuri	<お釣り>
abura	<油/ガソリン>	obi	<帯→ベルト>
asta	<明日>	oba	<オーバー/派手>
asebo	<汗疹>	obake	<お化け>
asa	<朝>	oswey	<遅い/鈍い>
asate	<明後日>	osang	<お産>
asobi	<遊び>	osume	<おしめ>
asobu	<遊ぶ>	ogoru	<奢る>
azi	<味>	ohaka	<お墓>
agiru	<家鴨>	ohayyo	<おはよう>
ageru	<上げる>	omiyage	<お土産>
agaru	<上がる>	omangko	<性交>
ami	<網>	omosiruy	<面白い/変だ>
ame	<雨>	omoy	<重い>
amerika	<アメリカ→西洋人>	onna	<女/妻>
amakucyu	<雨靴>	oni	<鬼→罵倒語>
amay	<甘い>	onazi	<同じ>
anna	<あんな>		

oriru	<降りる>	ucu	<打つ／的を射る>
oren	<おでん>	usiro	<後ろ／裏手／びり>
oranggo	<お団子→水団>	uso	<うそ>
owaru	<終わる>	ugoku	<動く>
oysi	<美味しい>	umi	<海>
oyu	<お湯>	uma	<馬>
		untensuru	<運転する>
/u/		uncyang	<運ちゃん→運転手>
uta	<歌>	unme	<運命>
utaw	<歌う>	undokay	<運動会>
ukura	<いくら>	undozyo	<運動場>
uci	<うんち→大便>	unagi	<鰻>

## 注

- 1) 『言語学大辞典 第1巻 世界言語編(上)』(明治書院, 1988)での「アタヤル語」の解説(土田滋担当)による。

## 参考文献

- 1) 真田信治・簡月真(2007)「台湾アタヤル族における日本語クレオール」『日本語学会2007年春季大会要旨集』pp.167-174.
- 2) Chien, Yuehchen and Shinji Sanada (2010) Yilan Creole in Taiwan. *Journal of Pidgin and Creole Languages*, 25(2), pp.350-357.
- 3) 真田信治・簡月真(2012)「宜蘭クレオール」『国語研プロジェクトレビュー』Vol.3 No.1, pp.38-48.
- 4) 真田信治(2013)「宜蘭クレオールの音韻覚書」*Journal of Policy Studies*,44, pp.103-105.

## Summary

In Taiwan, contact between Atayal and Japanese has produced a little known language variety spoken by indigenous residents living in Yilan County in Eastern Taiwan which we have come to name 'Yilan Creole'. As a part of an interim report of our research, the current paper attempts to clarify the sound correspondence of Yilan Creole and Japanese.

**Key words:** Yilan Creole, Atayal language, sound correspondence